

# 報告事項1：令和6年度事業報告の件

## 令和6年度事業報告 要 旨

### 事業年度活動テーマ 『For your smile』

#### ～あなたの笑顔と幸せのために～

はじめに

長く続いたコロナ禍が明けた新しい時代を、会員同士がチームとして一体化することで更なる組織強化を図ることが出来るよう『Partnership チームのために手を取り合おう』として事業活動を推進しました。

令和6年度は『For your smile～あなたの笑顔と幸せのために～』を事業年度活動テーマとして「笑顔」で過ごすことで、明るい未来に繋がるよう活動をして参りました。相手がしてくれたことを「あたりまえ」と捉えず、「感謝の気持ち」を大切に「ありがとう」と言葉にして伝えることを意識して日常生活を過ごす、自然と笑顔でいることが多くなる。笑顔でいることが自分の幸せとなり、そして、大切なお客さま、仲間、家族など自身のまわりに関わるすべての人の笑顔や幸せへと連鎖することで、明るい未来に繋がるよう活動した。

令和6年度の特記する点は下記の通りである。

#### ◆2024年次大会 in 秋田、地方協会セミナー

2024年次大会 in 秋田は令和6年5月31日に盛大に開催することが出来た。また、各地方協会では、セミナーの対面開催と同時にWebを活用してハイブリッド開催とするなど、一般消費者参加の増加を図ることが出来た。

#### ◆ITの活用と促進

ホームページや学習帖のアクセス数のモニタリングを継続しながら、IT公益推進委員会の教育部会・広報部会・IT推進部会の3部会が共同でアクセス数の増加にむけて活動した結果目標としていたアクセス数2万件を達成した。

更に、JAIF公式LINEでは広報誌「Present」最新号の発信や各種お知らせ等を発信した。

#### ◆会員増強

令和6年度は、会員数が前年度比1.5%の減少となり、会員数4万名までに至らなかったが、各地方協会、各社分会等の活発な活動が行われた。

#### ◆愛のドリーム募金

会員1人1日10円を募金し、高齢者福祉施設等に福祉巡回車「愛のドリーム号」を贈呈するなどの活動を行っている愛のドリーム募金は、生命保険の日である1月31日に全国一斉贈呈式を実施する方針の下、全国54地方協会すべてにおいて一斉に挙行了。

#### ◆ハートフルファンデーション支援

会員の年会費に500円のハートフルファンデーション基金が含まれており、「突発的災害」と「未来ある子どもたち」への2本柱として支援活動を行っている。

「突発的災害」は、被災地のハートフル・コーディネーターや地方協会長との連携により、多発した大雨災害や大規模山林火災など、迅速に被災地が求める物資支援等を行った。

また、「未来ある子どもたち」への取り組みとして、平成29年度以降継続支援してきた3団体に加え、令和5年度から新たな1団体に加え、引き続き支援を行った。

令和6年度の公益社団法人としての事業詳細については下記のとおり報告する。

## ■「公益社団法人」としての役割と使命（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIFA）は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、JAIFAの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

## ■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施（教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1））

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

年次大会は、年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るといふ、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している（2024年度開催「2024年次大会 in 秋田」：全体で3,000名参加）。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、参加者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形での社会貢献活動（リレー・フォー・ライフ、スペシャルオリンピックス日本など）ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

## ■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて

### (教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

- ① 公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 全国各地の主催行事へ参加
- ② 広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ (ファイナンシャルプラン)」14年継続  
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 23年継続

## ■社会貢献活動の充実 (ボランティアおよびエコ活動事業 (公益目的事業2))

社会貢献活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり展開している。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させている。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、29年間で6億5,454万7,849円、福祉巡回車愛のドリーム号は476台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援に関わる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子どもたちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子どもたちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子どもたちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく。「かけがえのない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ!」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、タオルの回収について継続的に実施しており、令和7年度でも実施予定である。

### タオルの回収

自宅や会社にある未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用していただき喜ばれている活動である。一般企業から協力もいただいている。

更に「愛のドリーム募金」の拡充と活動の周知をはかるため、令和元年度より、毎年、生命保険の日(1月31日)に併せて「愛のドリーム募金」贈呈式を全国地方協会にて一斉に挙行していく活動を取り入れた。この活動は恒久事業として毎年継続していく。

## ■ハートフルファンデーション支援 (ボランティアおよびエコ活動事業 (公益目的事業2))

### 1. 未来ある子どもたちへの継続支援

平成24年の設立からの5年間「年度ごとの期限を定めた支援」として毎年500万円相当の寄贈も続けてきた実績から、「年度ごとの期限を定めた支援」に代わり「未来ある子どもたち」に焦点をあて継続してきた。令和5年度より下記3団体に新たな支援先として「ジャパンハート」を加え合計700万円の支援をさせていただいた。

また、終息が見えず子どもたちへの長期的な影響が懸念されている「困難な状況にあるウクライナの子どもたちのための支援」として、300万円をウクライナ大使館を経由して支援をさせていただいた。

### 継続支援実績 (平成29年度に継続8年目の支援)

- ① 「NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会」(100万円)

全国の病院を訪問して闘病中の子どもたちを笑顔にする活動をしている団体である。令和6年は、全国53の小児病棟を、のべ915名のクラウン(道化師)が、494回訪問している他、ウクライナの小児病棟の子どもたちや能登半島の被災地の人々に笑顔を届けた。病院の定期訪問の他、被災地の活動に支援させていただいた。

- ② 「公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」(200万円)  
病気と闘う子どもが、家から離れた病院に入院している場合、家族の負担は肉体的にも精神的にも経済的にも大きなものとなる。このような子どもの治療に付き添う家族の滞在施設が全国に12施設あるため、施設運営へ支援させていただいた。
- ③ 「公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン」(200万円)  
命に関わる難病の子どもたちの夢をかなえ、生きる力や病気と闘う勇気を与え活動をしている団体である。難病の子どもたちの夢を1つでも多く叶えることができるよう支援させていただいた。
- ④ 「NPO法人 ジャパンハート」(200万円)  
国内外を問わず医療の届かないところに医療を届けるという理念で、難病を抱える子どもたちの治療を実現している団体である。特に小児がんの子どもたちを対象とした「スマイルスマイルプロジェクト」に支援させていただいた。

## 2. 突発的災害への支援

全国各地で突発的に大災害が発生しており、全国の地方協会に1名ずつ登録いただいているハートフル・コーディネーターと地方協会長とが被災状況等を把握し相談のうえ、支援内容について本部ハートフルファンデーション委員会と連携する体制をとっているため、被災地が必要としている物資支援や要望に対して下記の通り支援し役立てていただくことができた。

万一の大災害時に、「JAIFAらしい支援」が会員の総力をもって起動できる体制は、会費に会員一人500円の基金が加えられたことで年間約2,000万円規模の原資が積み立てられ、会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられた。改めて感謝申し上げるとともに、引き続き公益法人としての社会貢献活動として負託に応えていくこととしている。

### ◆石川県能登半島への支援

令和6年1月に発生した石川県能登半島地震では「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」窓口へ500万円寄附をはじめとする支援をさせていただいていたが、被害が甚大であることから中長期的な支援を行う方針を決定していた。令和6年度も石川県協会が物資支援や3回にわたる炊き出しを行った。

復興途上の能登に9月豪雨災害が発生し、激甚災害に指定されたことを受け、すぐに「石川県令和6年能登豪雨災害義援金」窓口へ500万円の寄附をさせていただいた。さらに石川県協会は、豪雨直後に珠洲市社会福祉協議会と連携し被害状況を確認したうえで、避難所へ飲料や食料を支援させていただいた。

### ◆令和6年7月25日からの大雨にかかる災害への支援

梅雨前線の影響で、山形県では線状降水帯が発生して大雨の被害もたらされた。山形県協会は、山形県戸沢村社会福祉協議会と連携し、県が建設した仮設住宅28戸すべてに石油ストーブを支援させていただいた。また被災世帯70世帯対して防寒着275着を合計225万円の支援をさせていただいた。

### ◆岩手県大船渡市の林野火災による災害への支援

2月26日に発生した林野火災について、火災が拡大する中、岩手県協会は大船渡市役所と連携し、被災地で必要としている物資を確認し、ティッシュペーパー、歯ブラシ、歯磨き粉、カップみそ汁、ミニカップ麺、粉ミルク、赤ちゃん用・大人用紙おむつ、男女下着などの支援物資を3度にわたり搬入した。

最後に、年次大会にて恒例となっている「LEDバッジを活用した募金活動」は、JAIFA年次大会 in 秋田の開催地である秋田県と秋田市に「未来ある子どもたちへ役立たせるため」の支援として85万9,521円ずつ寄附をした。

## ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2025年3月31日

前年度末繰越金	93,954,490		
<b>収入</b>		<b>支出</b>	
①年会費からの収入	19,987,000	①突発的災害支援	8,647,022
令和6年度会費39,906名〔@500〕	19,953,000	令和6年能登半島地震への支援	748,842
令和5年度以前の会費68名〔@500〕	34,000	令和6年能登豪雨災害への支援	247,663
②寄付金等	1,592,533	石川県令和6年能登豪雨災害義援金	5,000,000
一般社団法人生命保険協会〔R6年度〕	1,500,000	令和6年7月25日からの大雨にかかる災害への支援	2,250,525
一般	92,533	岩手県大船渡市の林野火災による災害への支援	399,992
③2024JAIFA年次大会in秋田募金 （一口1,000円以上募金LEDバッジ）	1,719,042	②秋田県・秋田市（未来ある子どもたちへの支援）	1,719,042
④ファンデーションバッジ（@10,000）	90,000	③未来ある子どもたちへの継続支援	7,000,000
		NPO法人 日本ホスピタル・クラウン協会	1,000,000
		公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス	2,000,000
		公益財団法人 メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン	2,000,000
		NPO法人 ジャパンハート	2,000,000
		④ウクライナの子どもたちのための支援	3,000,000
		⑤LEDバッジ制作費	803,000
		⑥振込手数料・残高証明書発行代	5,720
<b>合計</b>	<b>23,388,575</b>	<b>合計</b>	<b>21,174,784</b>
		<b>年度末残高</b>	<b>96,168,281</b>

### ■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

JAIFAが連携する海外協会であるNAIFA（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）との交流をはかり、生命保険に係る研究を重ねると共に、やがて、JAIFAが諸外国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる公益組織の見本となるようこれからも展開していく。

### ■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し会員増加への対応を相互連携することは、JAIFAの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

令和6年度は、会員数が前年度比1.5%の減少となり、会員数4万名まで達成するには至らなかった。

事業年度	会員数	増加数	増加率
平成16年	27,998名		
17年	29,019名	1,021名	3.6%
18年	29,248名	229名	0.8%
19年	30,538名	1,290名	4.2%

20年	30,576名	38名	0.1%
21年	31,598名	1,022名	3.3%
22年	31,770名	172名	0.5%
23年	31,812名	42名	0.1%
24年	32,412名	600名	1.9%
25年	33,775名	1,363名	4.2%
26年	34,044名	269名	0.8%
27年	34,890名	846名	2.4%
28年	36,449名	1,559名	4.3%
29年	38,476名	2,027名	5.3%
30年	38,876名	400名	1.2%
令和元年	39,334名	458名	1.2%
2年	38,897名	▲437名	▲1.2%
3年	39,557名	660名	1.7%
4年	38,664名	▲893名	▲2.3%
5年	40,487名	1,823名	4.5%
6年	39,906名	▲581名	▲1.5%

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員としている。生保業界の環境変化の中、代理店に所属する営業職員に対しても J A I F Aの事業活動を広報しつつ入会促進している。生命保険会社に所属する会社に比して代理店は来店窓口型も多く、一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生命保険への理解を深めていただけるように取り組む。

#### ■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「Present」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。

2024年2月号より特集と連載を生命保険に関する記事を掲載している。相続対策など、一般の方の知識となるような内容とする。

また、広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「QRコード」などを活用していく。

#### ●2024年4月号

- ・ 特集 第3回 相続対策に強い生命保険 円満な遺産分割対策と円滑な相続税の納税資金準備
- ・ 連載 第1回 ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング 既契約のお客さまと信頼関係を育てることの大切さ
- ・ 第108回 ゼロから学ぶ税金講座 定額減税、その実態は？（前編）
- ・ 第256回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～ 祖母の笑顔
- ・ 第85回 社会保険Q&A 物価上昇に追いつかない年金額 物価上昇に追いつかない年金額
- ・ 第145回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】基本に「品格」を添えましょう
- ・ 第127回 心のかけはし お客様は私の大切な家族のひとり～自分の人生の最後までお客様に寄り添いたい～
- ・ 第157回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ たった「1株」でも株主優待がもらえる？
- ・ 第3回 学び（相互研鑽）のひろば 福島県協会創立45周年記念講演会を開催しました
- ・ タオル・カード類 収集へご協力をお願い

#### ●2024年5月号

- ・ 特集 第4回 相続対策に強い生命保険 最低限押さえておこう、相続税の基礎控除と死亡保険金の非課税枠

- ・ 連載 第2回 ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング 成績を安定させるためのキーマン作り
- ・ 第109回 ゼロから学ぶ税金講座 定額減税、その実態は? (後編)
- ・ 第257回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～支えてくれた保険
- ・ 第86回 社会保険Q&A 年金カットの基準が変更
- ・ 第146回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】『意識』をリスト化しましょう
- ・ 第215回 お客様からの感謝の声43歳で天国に旅立った最愛の夫。3人の息子達に十分な教育費を残してくれました
- ・ 第158回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 新NISAスタート! この後どうする?
- ・ 第62回 想いをつなぐ ボランティア活動や社会貢献活動など、広く公益のための活動を行っています
- ・ 第63回 JAIFA VOICE Face to Face でしか感じ取れない安心をお届けしたい!

## ●2024年6月号

- ・ 特集 第5回 相続対策に強い生命保険 その相続トラブル、生命保険があればまた違ったかもしれません
- ・ 連載 第3回 ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング ストレスなく紹介をいただくための仕掛けづくり
- ・ 連載 第1回 すぐに役立つ介護の知識 〈自宅で介護をする場合〉
- ・ 第110回 ゼロから学ぶ税金講座 賃上げに税制改正が寄与?
- ・ 第87回 社会保険Q&A 国民年金保険料の「免除」
- ・ 第147回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】自分の見え方を研究しましょう
- ・ 第128回 心のかけはし 地域貢献活動を通じて 地域の皆様の心のかけはしになりたい～数字に表れない心のつながりこそ、営業の活力～
- ・ 第159回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 安全運転でお得なゴールド免許・SDカード
- ・ 第63回 想いをつなぐ 毎年5月に支部活動報告会を開催しています
- ・ 第64回 JAIFA VOICE 「大人のサークル活動」をテーマに皆で楽しみながら相互研鑽に励む

## ●2024年7月号

- ・ レポート 2024 JAIFA年次大会 in 秋田 Partnership～チームのために手を取り合おう～
- ・ 第54回 定時総会
- ・ JAIFA社会貢献活動報告
- ・ 第160回 思わず伝えたくなる! お金にまつわるエトセトラ 複利計算が瞬時にできる「72の法則」「126の法則」
- ・ 連載 第2回 すぐに役立つ介護の知識 働きながら介護を続けるコツ【後編】〈遠距離介護の場合〉
- ・ 第259回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～虹がもたらすたくさんの笑顔
- ・ 第88回 社会保険Q&A 国民年金保険料の「猶予」
- ・ 第148回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】心のメンテナンスを習慣にしましょう
- ・ 第129回 心のかけはし 人と人、一瞬の出会いを繋いで世の中をより良い方向へ導くことこそ私の仕事～保険販売は先義後利。あと何があればその人の人生がワンランク上になるのかを常に考えそこに向かう勇気を配っています～
- ・ 第111回 ゼロから学ぶ税金講座 子育てにやさしい税制改正
- ・ 第64回 想いをつなぐ 広く一般の方々にJAIFAを知っていただけるようなイベントや社会貢献活動をしています

## ●2024年8月号

- ・特集 第6回 相続対策に強い生命保険 相続財産次第では、相続放棄も検討しましょう
- ・連載 第4回 ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング ご紹介を増やすためのポイントとは
- ・連載 第3回 すぐに役立つ介護の知識 失敗しないケアマネジャーの選び方
- ・第112回 ゼロから学ぶ税金講座 「子育て支援」で生命保険料控除拡充へ
- ・第260回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～私を支えてくれているもの
- ・第89回 社会保険Q&A 年金の「財政検証」と所得代替率
- ・第149回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】運を生かす小さな努力をしましょう
- ・第216回 お客様からの感謝の声 生命保険加入の2年後、26歳で精巣がん。家族や親友の支えで病気を乗り越えました
- ・第161回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 「SNS型投資詐欺」で約278億円も被害に
- ・第65回 想いをつなぐ 「こども」と「障害者」の支援に力を入れています
- ・第65回 JAIFA VOICE 業界全体の発展を目的に相互研鑽に励む

## ●2024年9月号

- ・特集 第6回 相続対策に強い生命保険 遺産分割の対象となる相続財産を知っておこう
- ・連載 第5回 ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング 既契約マーケティング導入のススメ
- ・連載 第4回 すぐに役立つ介護の知識 介護保険・住宅改修のコツ〈介護リフォームで補助金を受けよう〉
- ・第113回 ゼロから学ぶ税金講座
- ・第261回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～父の想い
- ・第90回 社会保険Q&A パートの社会保険加入、さらに拡大
- ・第150回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】心を治すタイミングに気づきましょう
- ・第130回 心のかけはし 自分に負けたくない。プライドをもってこの仕事と向き合っています
- ・第162回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 年金が年6万円増える？年金生活者支援給付金とは
- ・第66回 想いをつなぐ 私たちの合言葉は「力を合わせて全力で」
- ・第66回 JAIFA VOICE お互いに研鑽しながら、日々勉強しています

## ●2024年10月号

- ・特集 第8回 相続対策に強い生命保険 遺産分割の方法にもパターンがあります
- ・「生命保険の月」に寄せて
- ・連載 第2回 FP知識を活用した保険販売のアプローチ 教育委からのアプローチ
- ・第114回 ゼロから学ぶ税金講座 「相続税の総額」がわかれば相続税がわかる(2)
- ・第262回 ありがとう生命保険 ～中学生作文コンクール入賞作品より～保険からの贈りもの
- ・第91回 社会保険Q&A
- ・第80回 社会保険Q&A 「130万円の壁と106万円の壁の違い」
- ・第151回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】自分が使っている言葉を意識しましょう！
- ・第217回 お客様からの感謝の声 前妻が出産後に急逝してから15年。新しい家族との1日1日を大切にしています
- ・第163回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 「年収の壁」を超えて働く3つのメリット
- ・第67回 想いをつなぐ 社会貢献活動を通して研鑽を積んでいます
- ・第67回 JAIFA VOICE 「楽しく活動をする事」をモットーに様々な活動をしています

●2024年11月号

- ・ J A I F A理事・監事 21人の理事・監事からのメッセージ特集
- ・ 特集 第9回 相続対策に強い生命保険 最近の相続対策は死亡だけではありません～長生きによる介護リスク～
- ・ 連載 第5回 すぐに役立つ介護の知識 介護費用の一部が医療費控除の対象になるって本当ですか？
- ・ 第115回 ゼロから学ぶ税金講座 「相続税の総額」がわかれば相続税がわかる（3）
- ・ 第263回 ありがとう生命保険連載 ～中学生作文コンクール入賞作品より～生命保険が与えてくれるもの
- ・ 第92回 社会保険Q&A 65歳からの社会保険（前編）
- ・ 第152回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】自信というスキルを身につけましょう
- ・ 第131回 心のかけはし 全ての人との出会いを大切に。感謝の輪をつなげて自分も周りも笑顔にしたい
- ・ 第164回 思わず伝えたくなる お金にまつわるエトセトラ 遺族年金の「男女差」解消？
- ・ 第68回 想いをつなぐ 先輩方の想いを継承しながら、年次大会の開催に挑戦します！
- ・ 第68回 J A I F A VOICE 我々が元気ならば地域が元気になる！
- ・ J A I F Aテーマソング明るい未来へ

●2024年12月号

- ・ J A I F A54地方協会長からのメッセージ
- ・ 特集 第10回 相続対策に強い生命保険 相続対策は二次相続まで考えよう
- ・ 連載 第6回ストレスなく紹介をいただける既契約マーケティング 「既契約マーケティング」を活用して今こそ真の顧客本位を！
- ・ 連載 第6回 すぐに役立つ介護の知識 在宅介護費用はいくらかかる？事例で学ぶ介護保険の利用料
- ・ 第116回 ゼロから学ぶ税金講座 「相続税の総額」がわかれば相続税がわかる（4）
- ・ 第264回 ありがとう生命保険連載 ～中学生作文コンクール入賞作品より～保険で咲く笑顔
- ・ 第93回 社会保険Q&A 65歳からの社会保険（中編）
- ・ 第153回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【ずっと愛される人が大切にしていること】今年1年の自分と対話しましょう
- ・ 第165回 思わず伝えたくなる お金にまつわるエトセトラ お金を貯められる人が行かない3つの場所
- ・ 第69回 想いをつなぐ 地域の皆様に喜んでいただける活動を精力的に
- ・ 第69回 J A I F A VOICE 皆さん、J A I F Aを楽しみましょう！
- ・ J A I F Aテーマソング明るい未来へ

●2025年1月号

- ・ 新春対談 For your smile ～あなたの笑顔と幸せのために～  
高島 礼子さん<俳優> 金井 敬司<J A I F A第13代理事長>
- ・ 連載 第1回 10分レッスン事例で学ぶライフプランニング 家計を見直したい30代世代連載
- ・ 第265回 ありがとう生命保険連載 ～中学生作文コンクール入賞作品より～生命保険の心強さ
- ・ 第62回 中学生作文コンクール 入賞者表彰式
- ・ 生命保険会社社長より 新年のご挨拶
- ・ 第117回 ゼロから学ぶ税金講座 「相続税の総額」がわかれば相続税がわかる（5）
- ・ 第94回 社会保険Q&A 65歳からの社会保険（後編）
- ・ 第154回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【ずっと愛される人が大切にしていること】経験したことすべてを成長に変えましょう
- ・ 第218回 お客様からの感謝の声 自分らしい生き方を全うした73歳の妹が遺した老後資金。悲しい相続になりました

- ・ 第166回 思わず伝えたいくなる お金にまつわるエトセトラ 2年目を迎える新NISA 「貯蓄から投資へ」は進んだ？
- ・ 全国会長会議報告
- ・ 第70回 想いをつなぐ これからの日本を背負う子どもと親のために貢献したい
- ・ 第70回 JAIFA VOICE メンバー全員が役割を全うし、団結力があります！

## ●2025年2月号

- ・ 特集 第11回 相続対策に強い生命保険 世界的にもユニークな日本の相続税の計算の仕方を押さえておこう
- ・ 連載 第2回 10分レッスン事例で学ぶライフプランニング 団信選びに迷う40代世代
- ・ 第118回 ゼロから学ぶ税金講座 「相続税の総額」がわかれば相続税がわかる(6)
- ・ 第266回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～ 祖母と黄色い花
- ・ 第95回 社会保険Q&A 高年齢雇用継続給付の縮小
- ・ 第155回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術
- ・ 【ずっと愛される人が大切にしていること】笑顔が引き出す効果を知ろう
- ・ 第219回 お客様からの感謝の声 ステージ4のがんを克服。家族、仕事仲間、医療従事者、生命保険すべてに感謝です
- ・ 第167回 思わず伝えたいくなる お金にまつわるエトセトラ スポーツジム代でも医療費控除が受けられる？
- ・ タオル・子ども向け絵本 収集へご協力をお願いします
- ・ 2025JAIFA年次大会 in さぬき 参加者募集のご案内

## ●2025年3月号

- ・ 特集 第12回 相続対策に強い生命保険 生前贈与を活用しよう その1
- ・ 連載 第3回 10分レッスン事例で学ぶライフプランニング 老後のために資産運用を始めたい世帯～その1～
- ・ 第119回 ゼロから学ぶ税金講座 「103万円の壁」2つの側面(前編)
- ・ 第267回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～おばあちゃんありがとう
- ・ 第96回 社会保険Q&A 「106万円の壁」崩壊へ
- ・ 第156回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【ずっと愛される人が大切にしていること】褒めるセンスを身につけましょう
- ・ 第220回 お客様からの感謝の声 43歳で甲状腺がん罹患。治療と仕事を両立し、モットーは「人生を楽しむ!」です
- ・ 第168回 思わず伝えたいくなるお金にまつわるエトセトラ 2025年3月24日から「マイナ免許証」がスタート
- ・ 第71回 JAIFA VOICE 50周年だよ!全員集合
- ・ 2025JAIFA年次大会 in さぬき 参加者募集のご案内

## 1. 教育啓発・情報提供活動事業（公益目的事業1）

### セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいている。

全国9ブロック54協会が、さまざまな分野から講師をお招きして132回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

#### 1. 健康増進や先端医療のテーマ

##### ◆開催事例

- ①吉岡 秀人（特定非営利活動法人ジャパンハート 最高顧問）  
『救う力～こころを救う医療と自分を裏切らない生き方～』
- ②矢方 美紀（元 SKE48）  
『乳がんについてよく知ろう』
- ③原 千晶（元 女優）  
『大切にしたい自分の体～2度の子宮がんを経験して～』
- ④広庭 孝次（メディポリス国際陽子線治療センター 福岡事務所 所長）  
『切らないがん治療 先進医療「陽子線治療」について』

#### 2. 生きがいを考えるテーマ

##### ◆開催事例

- ①山田 邦子（お笑いタレント）  
『大丈夫だよ、がんばろう！』
- ②サヘル・ローズ（俳優）  
『出会いこそ、生きる力』
- ③木山 裕策（シンガー）  
『ガンが教えてくれたこと～自分に向き合って見つけた夢～』
- ④ゴルゴ松本（お笑い芸人）  
『命の授業』
- ⑤朝妻 久実（元 山陰中央テレビアナウンサー）  
『応援は幸せの循環の始まり～やり方の前に在り方～』

#### 3. 教育・人格形成テーマ

##### ◆開催事例

- ①坪田 信貴（坪田塾 塾長）  
『人をやる気にさせる科学的な坪田式メソッド』
- ②中野 信子（脳科学者）  
『ビジネスに生かす脳科学 成功する人の習慣チャンスを取り取る人になる！』
- ③井村 雅代（（公社）井村アーティストティックスイミングクラブ 代表理事）  
『心の才能をのばす』
- ④松坂 大輔（元 プロ野球選手・元 メジャーリーガー）  
『成功は地味な努力の積み重ねの先に～メジャーでの戦い～』

#### 4. ライフプランの設計支援テーマ

##### ◆開催事例

- ①今泉 洋一（（株）クオリティ・トラスト 代表取締役）

『人生100年「民事信託」という選択肢～思いを実現させる生前からの仕掛けづくり～』

②山本 英生 (山本英生税理士事務所 所長)

『そうぞくと生命保険』

③小坂橋 孝司 (元 明治安田 拠点長)

『iDeCoとNISAと保険の積立と』

## 5. 経済や金融などの知識向上テーマ

### ◆開催事例

①岸 博幸 (大学院教授)

『最新の日本経済の行方と人生でやるべきこと、やめるべきこと～多発性骨髄腫と向き合って～』

②菊池 幸夫 (弁護士)

『世の中うまい話はない！消費者問題あれこれ』

③尾河 眞樹 (ユニファイナシャルグループ 株式会社 執行役員兼金融市場調査部担当チーフアナリスト)

『世界経済の見通しとグローバル分散投資の重要性』

④馬淵 磨理子 (一社) 日本金融経済研究所)

『日本経済の見通しと企業の取るべき戦略』

## ブロックセミナー

### <北海道ブロック>

令和6年10月 4日 (金)

釧路プリンスホテル

谷田 昭吾

『幸せな毎日の作り方～ポジティブ心理学の実践～』

### <東北ブロック>

令和6年11月 8日 (金)

ホテルメトロポリタン山形

立川志の春

『落語に学ぶ人を惹きつける話術』

今泉 洋一

『人生100年「民事信託」という選択肢～思いを実現させる生前からの仕掛けづくり～』

### <関東甲信越ブロック>

令和6年12月 6日 (金)

富士石和温泉郷 ホテルふじ 会議室

ニーナ ヒデヒコ

『7つのがんを持つ男』

### <東海北陸ブロック>

令和6年 9月27日 (金)

福井県民ホール

島田 秀平

『コミュニケーションの技を伝授』

ひすい こたろう

『人生を輝かせる言葉をお届けします』

今村 友美

『最後に伝えたのは愛と感謝だった』

チアドリームプロジェクト 『チアダンス』

### <近畿ブロック>

令和6年10月21日 (月)

ヒルトン大阪

佐藤 ひらり

『心の目と無限の可能性』

泉 房穂

『不可能を可能にする方法～わたしたちはどう働いたらいいのか～』

<四国ブロック>

令和6年 7月17日(水) 高松国分寺ホール

笠井 信輔

『どん底でも前を向いて生きられた!』

中橋 恵美子

『少子化時代の今の子育て家庭の背景と様々な支援メニュー』

## 2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

### 社会貢献事業

#### ■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「Present」では、裏表紙に、生命保険の日（1月31日）に併せて全国一斉に「愛のドリーム募金」贈呈式を挙行了した活動を掲載した。令和7年3月31日現在までの総累計金額は、6億5,454万7,849円である。

#### ■ボランティア団体主催の諸行事に参加

ガンに立ち向かう人々のための公益財団法人日本対がん協会のリレー・フォー・ライフや、知的発達障害のある人々のための公益社団法人スペシャルオリンピックス日本などへ、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

#### ■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した台風や地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

## 3. 調査・提言事業（その他の事業）

### 諸団体との連携・交流等事業

- ・令和6年 4月18日(木)19日(金) 第54回MDRT日本会大会に金井理事長が出席した。
- ・令和6年 6月21日(金) 第53回TLC（生命保険協会認定FP）会総会に日影理事が出席した。
- ・令和6年 7月 2日(火) アンダーライティング学院運営委員会に金井理事長が出席した。
- ・令和6年 8月 5日(月) アンダーライティング学院運営委員会に日影理事が出席した。
- ・令和6年 8月27日(火) アンダーライティング学院第49期生卒業式に曾根崎理事が出席した。
- ・令和6年 9月 4日(水) アンダーライティング学院第50期生入学式に事務局が出席した。
- ・令和6年10月18日(金) 生命保険修士会50年記念定時総会講演会に日影理事が出席した。
- ・令和6年11月15日(金) 一般社団法人日本損害保険代理業協会第13回日本代協コンベンション懇親会に事務局が参加した。
- ・令和6年11月27日(水) アンダーライティング学院会計監査に右見理事が出席した。
- ・令和7年 1月 6日(月) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に金井理事長と事務局が出席した。

### 国際連携事業

#### ■NAIFA年次大会

NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客様や一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事であり、その活動に

は国境がない。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深く、私達が米国の生命保険制度を学ぶ意味を活かしていくことが重要である。

## 政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。令和7年度税制改正に関する要望項目について

令和6年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、11月19日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

### 《重点要望項目》

- ◎人生100年時代を迎え、少子高齢化の急速な進展や働き方・ライフスタイルの多様化など社会環境が変化する中、持続可能な社会保障制度の確立と国民生活の安定に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度を拡充すること
- 一令和6年度税制改正大綱に記載された内容で税制改正を決定すること（所得税法第76条）

### 《その他の要望項目》

#### I. 企業年金保険関係

- 公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、企業型確定拠出年金制度、厚生年金基金制度）および個人型確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること、撤廃に至らない場合であっても課税停止措置を延長すること
- 働き方に中立的な税制の構築に向けた税制改正の議論、とりわけ拠出時・運用時・給付時の課税の在り方については、私的年金全体の拠出限度額の見直し等の議論が進んだ場合であっても、年金制度のカバレッジの縮小が起きないように、一体的・慎重に議論を行うこと
- 確定給付企業年金制度について、企業の年金支給義務等を移転させる仕組みを導入するための措置を講ずること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の中途引出し（脱退一時金）について支給要件を緩和すること

#### II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

### ○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

令和7年1月27日（月）如水会館において、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会を開催された。

## 4. 管理部門

### 組織の現状

令和6年度末の会員数は39,906名となった。前年令和5年度末会員数40,487名と比較すると581名の減少となった。また、54地方協会のうち増加地方協会は23協会であった。地方協会別会員数は、別表（48～49ページ添付）資料の通りである。

## 会員増加23協会

宮城県・秋田県・山形県・茨城県・栃木県・新潟県・千葉県・神奈川県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・兵庫県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・山口県・香川県・愛媛県・佐賀県・大分県・宮崎県

## 諸会議の開催

### ① 理事会

第1回 令和6年 4月23日(火) 午後2時～午後4時半 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件 第2号議案 令和5年度決算承認の件 監査報告含 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 令和5年度決算承認の件 報告事項: 1. 令和5年度事業報告の件 2. 令和6年度事業計画報告の件 3. 令和6年度予算報告の件 II. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・副理事長 2. 内部監査報告について 3. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金 4. 秋田年次大会の開催について 5. その他

第2回 令和6年 9月 6日(金) 午後2時半～午後4時半 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和6年度事業推進について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 2. 規程改定の件 3. 地方協会長承認の件 4. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. 全国会長会議の開催予定について 4. その他

第3回 令和6年10月31日(木) 午後1時～午後2時半 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和6年度事業推進について 2. 令和6年度事業計画骨子について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 1. 職務執行状況の報告について(理事長・副理事長) 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 3. 内部監査について 4. その他

第4回 令和7年 1月27日(月) 午後2時～午後4時半 如水会館 3階『松風の間』

議 題 I. 決議事項 1. 令和6年度事業推進について 2. 令和7年度事業計画案について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 令和7年度予算原案について 4. 役員選出について 5. 地方協会の承認と任命について 6. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

第5回 令和7年 3月 7日(金) 午後1時半～午後3時半 メットライフ生命 6階 会議室

議 題 I. 決議事項 1. 令和6年度事業推進について 2. 令和7年度事業計画案について IT公益推進委員会 教育部会 IT公益推進委員会 広報部会 IT公益推進委員会 IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 3. 役員選出について 4. 地方協会長追加承認の件(富山県協会) 5. 支部(地方協会) 運営規程細則改定の件 6. その他 II. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金 2. 内部監査について 3. その他

### ② 委員会

#### IT公益推進委員会 教育部会

第1回【教育部会・編集会議】令和6年 8月 8日(木) 午後2時～午後3時半 JAIFA本部 会議室

議 事 1. 令和6年度事業進捗について 2. 令和6年度広報誌「Present」の制作について 3. 令和7年度事業計画案(骨子)について 4. その他

編集会議 午後3時半～午後5時

議 事 1. 令和6年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. 令和7年度広報誌「Present」年間編集方針について 3. その他  
第2回【教育部会・編集会議】令和6年11月29日(金)午後2時～午後3時半 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和6年度事業進捗について 2. 令和7年度広報誌「Present」の制作について 3. 令和7年度事業計画案について 4. その他

編集会議 午後3時30分～午後5時

議 題 1. 令和7年度広報誌「Present」下半期の編集内容について 2. その他

#### IT公益推進委員会 広報部会

第1回 令和6年10月17日(木)午後1時～午後3時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和6年度事業推進状況について 2. 令和7年度事業計画案(骨子)について  
3. その他

#### IT公益推進委員会 推進部会

第1回 令和6年 8月29日(木)午後2時～午後3時 J A I F A本部会議室【Web会議】

議 事 1. 各委員会によるLINEメッセージ配信の活用 2. 議案書・委任状電子化検討  
3. HPアクセス件数の事業計画目標達成

第2回 令和6年 11月11日(月)午前11時半～午後12時半 J A I F A本部会議室【Web会議】

議 事 1. 全国会長会議で挙げられたJ A I F A学習帖の活用方法について 2. 令和7年度事業計画案

#### 企画運営委員会

第1回 令和6年12月 5日(木)午後1時半～午後5時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 2025 J A I F A年次大会について 2. 令和7年度事業計画(案)について  
3. その他

#### **【2024 J A I F A年次大会 in 秋田実行委員会】**

第4回 令和6年 4月30日(火)午後2時～午後4時半 明治安田生命 秋田支社 2階 会議室

議 事 1. 2024 J A I F A年次大会 in 秋田について 2. その他

第5回 令和6年 6月27日(木)午後2時～午後5時 アルヴェ 多目的ホール

議 事 1. 2024 J A I F A年次大会 in 秋田 開催を受けて 2. その他

#### **【2025 J A I F A年次大会 in さぬき実行委員会】**

第1回 令和6年 7月16日(火)午後2時～午後5時 日本生命 高松支社 会議室

議 事 1. 2024 J A I F A年次大会報告(ダイジェストDVD視聴)  
2. 2025 J A I F A年次大会 について 3. その他

第2回 令和6年10月 9日(水)午後2時～午後5時 日本生命 高松支社 会議室

議 事 1. 2025 J A I F A年次大会について 2. その他

第3回 令和7年 1月31日(金)午後1時半～午後5時半 サンポート高松 54 会議室

議 事 1. 2025 J A I F A年次大会について 2. その他

#### 社会貢献委員会

第1回 令和6年10月17日(木)午後3時半～午後5時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 令和6年度事業進捗と今期方針の検討について 2. 令和7年度事業計画案(骨子)について 3. その他

#### 会員増強委員会

第1回 令和6年11月21日(木)午後1時半～午後2時半 J A I F A本部会議室【Web会議】

議 事 1. 令和6年度事業推進と会員増強について・会費納入状況について・会員増強について 2. 令和7年度事業計画(案)について 3. その他

#### 公益総務委員会

第1回 令和6年11月11日(月)午前10時半～午前11時半 J A I F A本部会議室【Web会議】

- 議 事 1. 令和6年度事業進捗について 2. 令和7年度事業計画(案)について 3. 地方協会からの意見書について 4. その他

### ③ 全国会長会議

第1回 令和6年10月31日(木) 午後3時～午後6時 メットライフ生命 6階大会議室 全国会長会議、JAIFAフォーラム 午後6時半～午後8時半 ナイトミーティング

- 議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と令和7年度事業計画骨子 IT公益推進委員会教育部会 IT公益推進委員会広報部会 IT公益推進委員会IT推進部会 企画運営委員会 社会貢献委員会 会員増強委員会 公益総務委員会 ハートフルファンデーション委員会 ②JAIFAの組織の現況等について 1. 内部監査報告 2. 事例報告「ハートフルファンデーション支援」について 石川県協会 角村会長、「生命保険協会との連携」について 大分県協会 前畑会長、「年次大会動員方法・ツアー企画」について 埼玉県協会 山崎会長 3. 広報部会より「JAIFA学習帖のコンテンツ説明」4. JAIFAフォーラム 5. その他

令和6年11月 1日(金) 午前9時～正午 メットライフ生命 6階大会議室 全国会長会議、ブロック会議

- 議 事 1. JAIFAフォーラム報告(8グループからの代表) 2. ブロック会議 北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック会議報告とブロック長会議報告 4. 年次大会誘致のPR 5. その他

### ④ ブロック長会議

第1回 令和6年10月31日(木) 午後1時～午後2時半 メットライフ生命 6階大会議室

- 議 事 1. 会員増強「令和6年度末時点 会員増員目標数」について 2. 「2025JAIFA年次大会inさぬき」の参加動員数について 3. 2028年の年次大会開催地について 4. その他

### ⑤ ブロック会議

<北海道ブロック>

令和6年10月 4日(金) 釧路プリンスホテル

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

令和6年 7月 9日(火) 朝日生命保険相互会社 山形支社

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

令和6年 7月12日(金) 明治安田生命保険相互会社 群馬支社 3階会議室

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

令和6年12月 6日(金) 富士石和温泉郷 ホテルふじ 会議室

<首都圏ブロック>

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

令和7年 3月29日(土) 久喜市総合体育館

<東海北陸ブロック>

令和6年 9月28日(土) ユアーズホテルフクイ

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

<近畿ブロック>

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

<中国ブロック>

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

<四国ブロック>

令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室

令和6年11月28日(木) ZOOM会議

令和7年 1月28日(火) ZOOM会議

令和7年 2月20日(木) ZOOM会議  
令和7年 3月14日(金) 高松ふれあい福祉センター勝賀  
＜九州ブロック＞  
令和6年10月31日(木) メットライフ生命6階会議室  
令和7年 2月14日(金) アクア博多ビルE会議室

#### ■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

令和6年度は、「本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動」「従来からの内部監査の延長活動」の各項目での内部監査を実施した。

内部監査 【本部事務局の管理体制・事務局の運営等を主体にした活動】

- 1 令和5年度に引き続き各種規程類の見直し
- 2 本部事務局の管理体制、事務についての見直し

【従来からの内部監査の延長活動】

- 1 各ブロック活動・地方協会の活動の確認

#### ■職員の状況

本部事務局の業務にあたる令和6年度末の専従職員数は6名である。

#### ■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

#### ■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。